

事業番号 2022 - 文科 - 新22 - 0020

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	博物館機能強化の推進			担当部局庁	文化庁			作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	企画調整課			企画調整課長 寺本恒昌	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	教育基本法 第12条 社会教育法 第3条 博物館法 第3条、文化観光推進法			関係する 計画、通知等	文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)				
主要政策・施策	観光立国、地方創生			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	文化審議会博物館部会において「これからの博物館に求められる役割」(5つの方向性)が提示され、これまで博物館が担ってきた基本的な役割とともに、新たに社会的・地域的な課題への対応と、持続可能な経営基盤の確立の必要性が示された。これを踏まえた改正博物館法の施行を見据えて、本事業では博物館に求められる新たな役割に対応するための先進的な取組を促進するとともに、博物館がこのような新たな役割に対応していくことに向けた事業実施基盤や経営基盤の強化を図る。また、新たな博物館制度を運用するための所要の体制整備を行う。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	これからの博物館が新たに求められる社会的・地域的な課題への対応に先進的に取り組む事業を支援し、その内製化と横展開を目指す。特に、人口減少や社会包摂などの政策的に重点的に取り組むべき領域における先進的な活動を支援する。支援に当たっては、活動の自立化・内製化のための経営基盤の確立と横展開まで見据えた計画であることを重視する。また、博物館の社会的・地域的な課題への対応に向けた事業実施基盤の強化や、単館では対応できない課題の解決のため、人材・ノウハウの共有等を行う博物館の組織連携・ネットワーク形成の取組を支援する。(定額補助)博物館の経営基盤の強化に向けては、外部資金の獲得等に向けた組織改革の取組を進めるための研修・実践を通じた知見・ノウハウの蓄積とその博物館界への発信・共有を実施。また、新たな博物館制度の円滑な運用に向けた体制整備を実施。(委託)								
実施方法	委託・請負、補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
		補正予算	-	-	-	424	1,474		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	424	1,474		
	執行額								
	執行率 (%)								
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)									
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	文化芸術振興費補助金	296	1,306						
	文化芸術振興委託費	116.9	157						
	庁費	6.1	6.1						
	委員等旅費	2.7	2.4						
	諸謝金	1.6	1.5						
	計	424	1,474						
活動内容 (アクティビティ)	博物館の機能を活用し、社会や地域における課題に向き合い、地域の関連団体、関係者と連携し、解決に先進的に取り組む博物館の活動を支援する。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	博物館の地域や他機関と連携しながらの社会的・地域的な課題への取組	事業採択件数(地域課題対応支援事業で支援する社会的・地域的な課題に対する取組)	活動実績	件	-	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	36	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	Innovate Museum事業(地域課題対応支援事業)採択額(千円)/採択件数(件)	単位当たりコスト		千円	-	-	-	4,000	
		計算式		千円/件	-	-	-	4,000千円×36件 / 36件	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度
	地域や他機関と連携しながらの社会的・地域的な課題への取組を登録博物館・指定施設が実施(令和元年度博物館総合調査ベースで回答館の約4割)	民間の主体と連携する館の割合	成果実績	%	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-		10 年度
			達成度	%	-	-	-		40 年度

根拠として用いた統計・データ名 (出典)		令和元年度日本の博物館総合調査							
活動内容 (アクティビティ)		博物館の、博物館や多様な機関等との組織連携・ネットワークの形成を通じた人材・ノウハウの共有等による課題解決取り組む活動を支援。							
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	人材・ノウハウの共有等を行う組織連携・ネットワークの形成	事業採択件数(ネットワークの形成による広域等課題対応支援事業で支援する組織の取組)	活動実績	件	-	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	5	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	Innovate Museum事業(ネットワークの形成による広域等課題対応支援事業)採択額(千円)/採択件数(件)	単位当たりコスト		千円	-	-	-	30,000	
		計算式		千円/件	-	-	-	30,000千円×5件/5件	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度 10年度
	博物館同士での人材やノウハウの共有等の連携・協力を登録博物館・指定施設が実施(令和元年度博物館総合調査ベースで回答館の約4割)	国内博物館の学芸系職員の派遣・受入れや職員の合同研修の実施館の割合	成果実績	館	-	-	-		
			目標値	館	-	-	-		40
			達成度	%	-	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		令和元年度日本の博物館総合調査							
活動内容 (アクティビティ)		博物館や非営利法人の経営資源の獲得に知見のある者に対し、博物館現場において外部資金の獲得等に向けた組織改革の取組を進めるための知見を研修・実践を通じ集積し、その成果を博物館界に発信・共有することで、博物館における経営改善の取組を促進する。							
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	博物館における経営改善に資する取組についての知見を集積し博物館界に発信する	事業採択件数(博物館の経営改善・機能強化推進事業で支援する組織改革の取組)	活動実績	件	-	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	2	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	経営基盤強化に向けた組織改革の促進に関する実証事業委託採択額(千円)/採択件数(件)	単位当たりコスト		千円	-	-	-	10,000	
		計算式		千円/件	-	-	-	10,000千円×2件/2件	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度 10年度
	登録博物館・指定施設における財政基盤の多様化(令和元年度博物館総合調査ベースで回答館の約4割)	外部資金の獲得を行っている博物館の割合	成果実績	館	-	-	-		
			目標値	館	-	-	-		40
			達成度	%	-	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		令和元年度日本の博物館総合調査							
政策 評価 施策	政策 評価 施策			政策評価書 URL					
				該当箇所					

事業所管部局による点検・改善

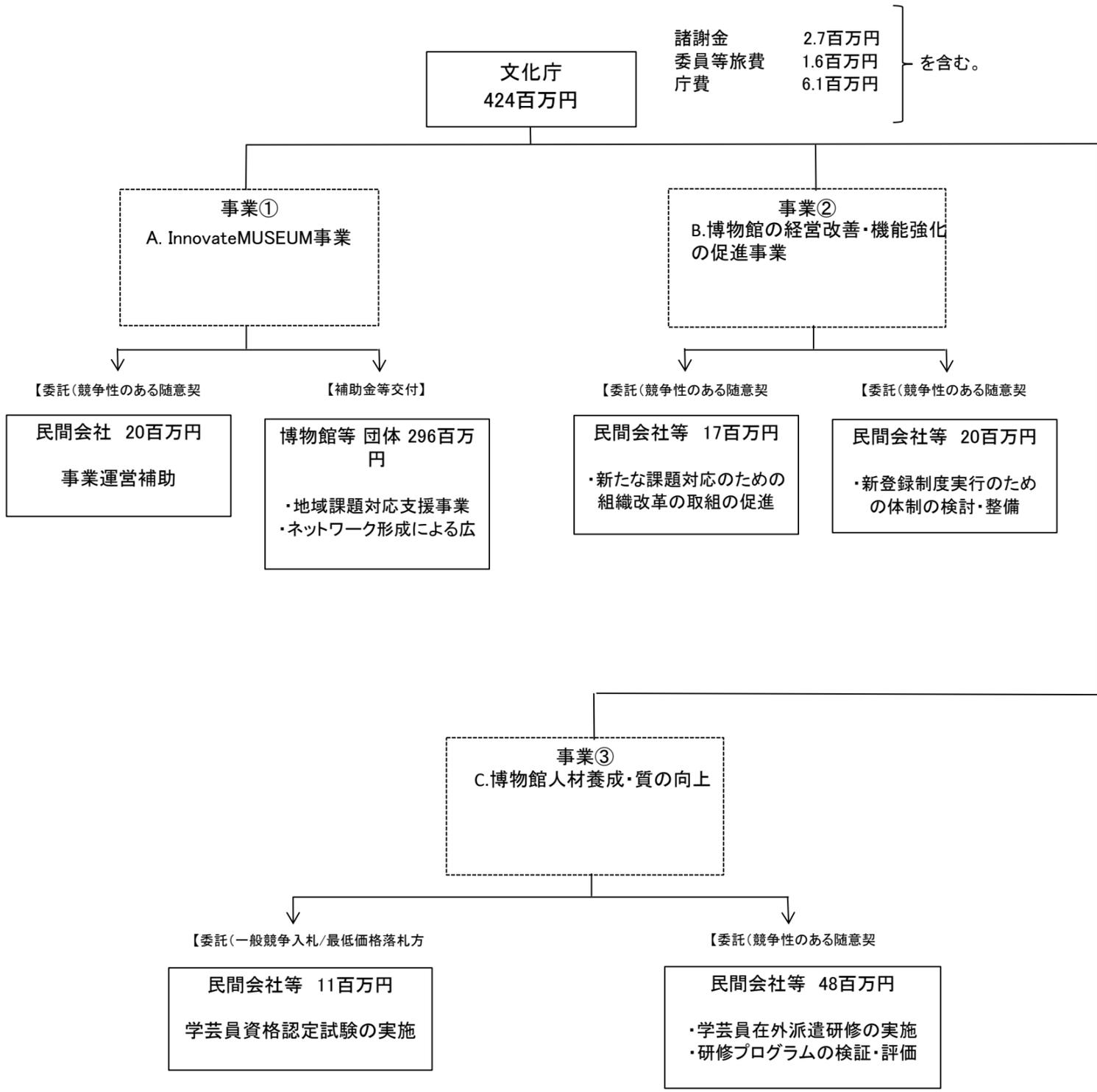
		項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	-	-
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	-	-
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	-	-
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	-
		競争性のない随意契約となったものはないか。	-	-
		受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
		繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業		関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
		事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	-		
	改善の方向性	-		
外部有識者の所見				
外部有識者による点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
事業の実施状況等を踏まえ、適切なアウトカムの設定について不断の見直しを図ること。引き続き事業の着実な実施及び適切な予算執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
事業の着実な実施及び適切な予算執行に努める。				
備考				

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度				
令和3年度	2021	文科	新22	0032

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)</small>	A.			B.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
	計			0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-